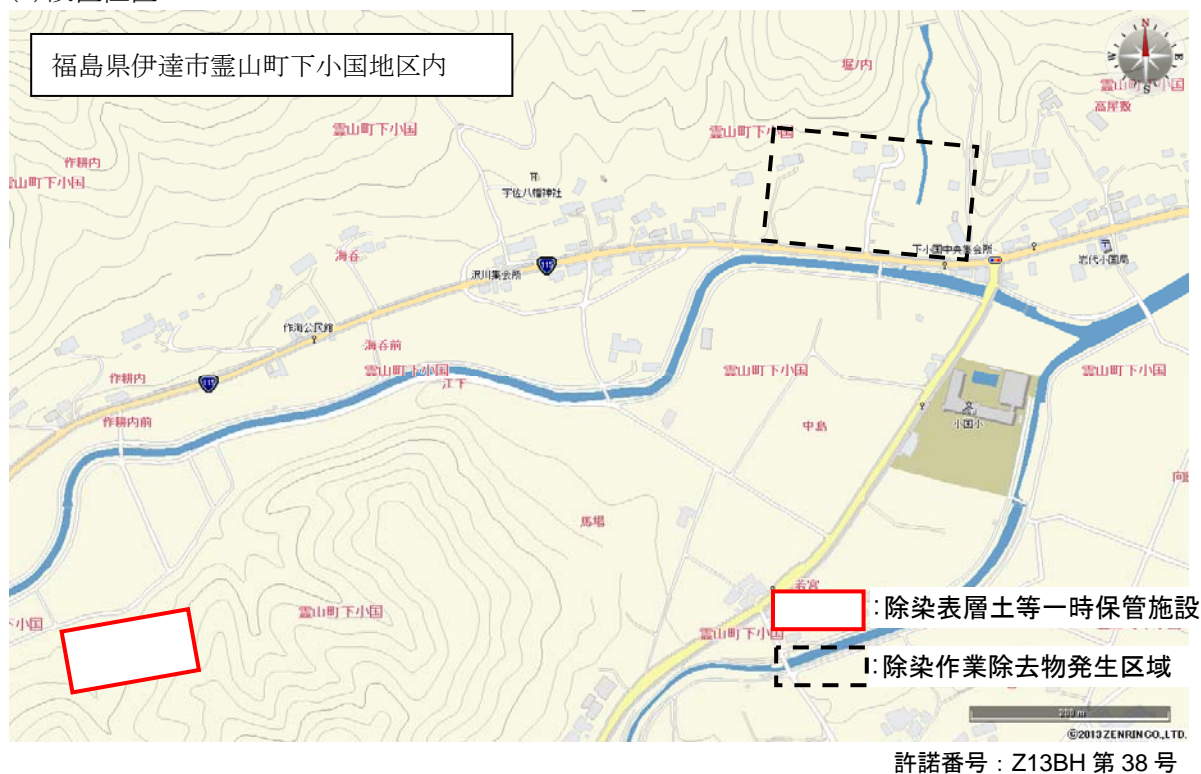


付録4：伊達市下小国地区における不燃性除去物の地下式一時保管施設の概要と一時保管方法

I 一時保管施設の概要

1. 設置場所位置及び施設概略寸法

(1) 設置位置



(2) 施設概略寸法及び基数

(最大)約 28m×約 68m, 約 1,450m², 1 基

2. 保管(定置)対象物及び数量

(1) 保管対象物

JIS Z 1651_2008 非危険物用フレキシブルコンテナに準拠した容量が約 1m³の耐候性容器で、以下の場所から発生した不燃性及び可燃性除去物を収納したもの

- ・伊達市下小国地区の除染作業対象区域
- ・一時保管施設設置区域

(2) 保管対象物の数量

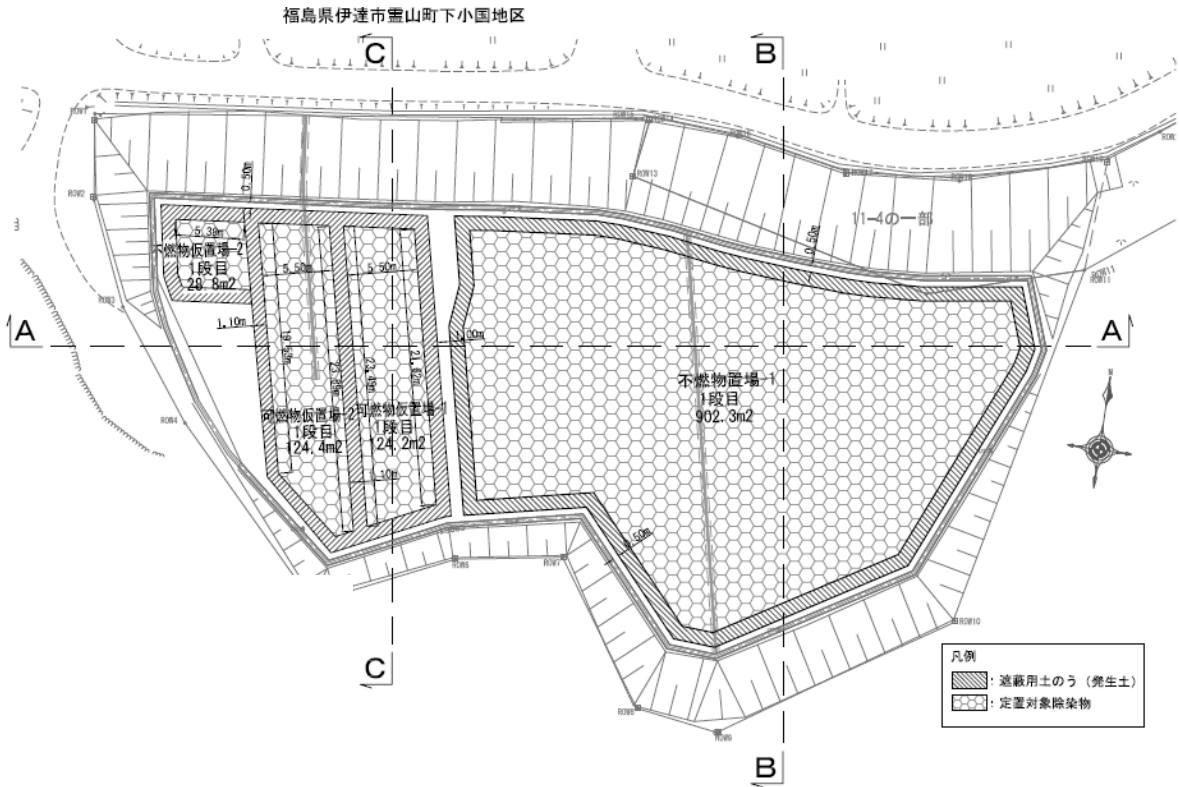
除去表層土等(可燃性除去物を含む)：約 2,310ton(約 1,690m³)

なお、仮置場の定置対象物の収納容積については、定置効率を考慮して運搬・定置対象物数量の約 1 割増しとして設定

3. 一時保管施設の構造

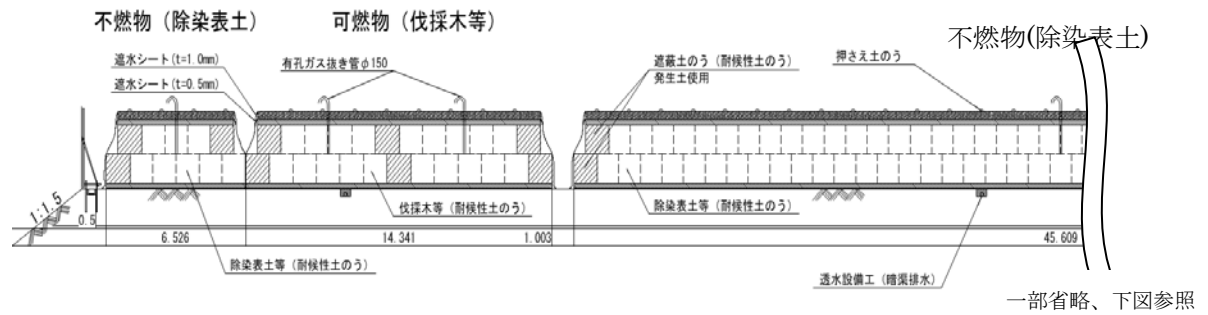
(1) 施設構造の概要

① 施設平面図

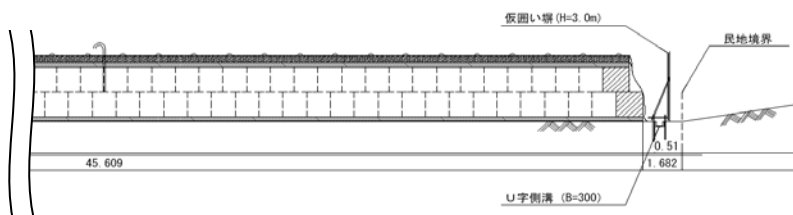


② 施設断面図

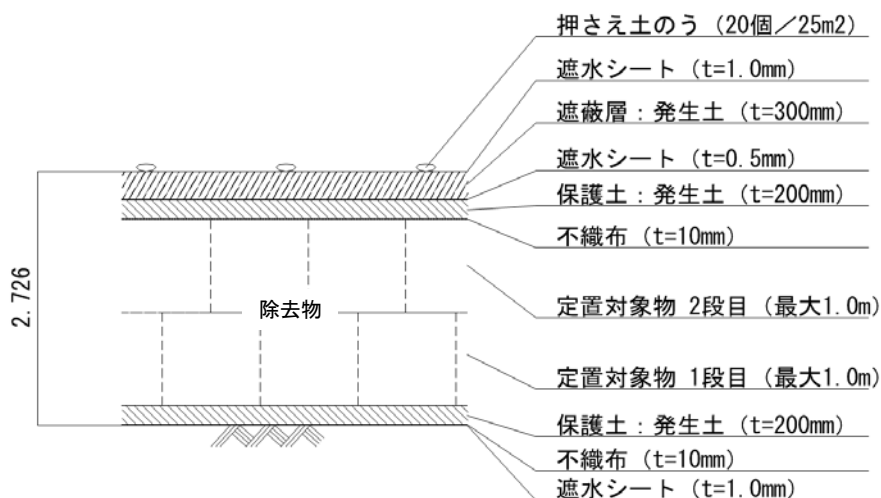
A-A 断面図



不燃物 (除染表土)



③断面詳細図



(2) 材料等の仕様

①遮水シート

一時保管施設の底面，側面及び上面に敷設施工

- ・塩化ビニル樹脂系低弾性型遮水シート(熱可塑性樹脂熱融着接合)
厚さ；0.5mmt 及び 1.0mmt

②遮水シート保護層，上部盛土

底部遮水シート上面，上部遮水シート中間及び上面に施工

- ・一時保管施設掘削部基盤層下層部の土

③排水工

一時保管施設周縁部に施工

- ・U形側溝(プレキャスト鉄筋コンクリート製品(JIS A 5372))

④囲い

国道 115 号線より仮置場を矢視し，定置対象物が十分に遮られる高さ程度(約 3.0m)に鋼製パネルフェンスを設置

(3) 一時保管施設附帯設備

①地下水サンプリング孔

除去物の定置後における一時保管施設からの放射性物質等の漏洩を監視するため，地下水の流れ方向及び仮置場の施工面積を勘案し，仮置場近傍に以下の仕様の地下水サンプリング孔を設置した。

- ・本数：1 本/箇所
- ・材質：有孔硬質塩ビ管(VP)
- ・口径：2B

②透水設備

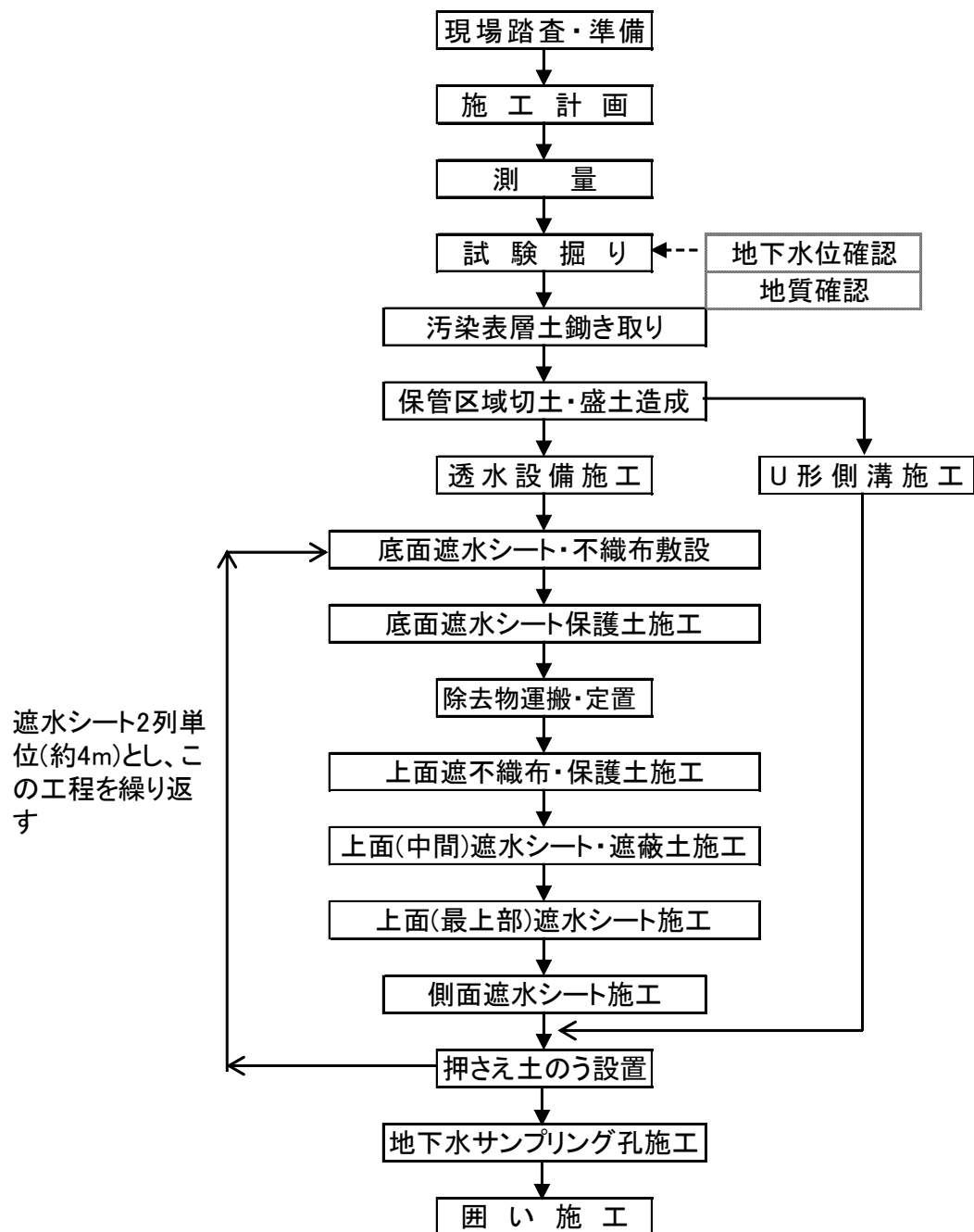
一時保管施設下面の排水を行うため，不燃性除去物置場中央部に以下の仕様の透水設備を設置した。

- ・本数及び長さ：1 本，約 27m
- ・材質：有孔硬質塩ビ管(VP)
- ・口径：6B

II 一時保管の方法

1. 施工及び保管フロー

不燃性除去物に係る一時保管施設の施工及び除去物の保管手順の概略フローを、以下に示す。



2. 作業員の被ばく管理

除去物の保管等にあたっては、個人被ばく線量計を着用して作業員に個人被ばく管理を実施。